



スタッフがそばにいるから教室には笑顔があふれる(東又教室)

# 学

## びの場



宿題もやさしく寄り添いサポート(影野教室)

### 安心して質問できる時間

多くの教室では、帰ってきたらすぐに宿題をするというルールが決められています。

学年によって帰ってくる時間は異なりますが、帰ってきた子どもたちから席に着き、同じ空間で宿題が始まります。早く終わらせて遊びたい子もいれば、友だちと相談しながら進めていく子もいます。

スタッフはそんな様子を見守り、時に一人一人の性格や理解度に合わせて優しく寄り添いサポートしています。みんなで取り組む宿題の時間は、友だちがいる安心感も相まって、学校とは違う学びの場となっているようです。

### 友だちとやる宿題が楽しい!

宿題を友だちと相談しながらやるのが楽しい。ここで宿題を終わらせた後、家に帰ってすぐサッカーの練習に行ける。一つの教室でみんなと時間いっぱい遊べて楽しい!



仁井田教室のみんな

共働き家庭の増加とともに、子どもたちの放課後の居場所となる「放課後子ども教室」の必要性は高まっています。そんな中、一部の教室では教室を支えるスタッフの高齢化や人員不足により、夏休みのような長期休業中の教室運営が厳しい状況となっています。時に学生アルバイトの力を借りながら、「子どもたちを退屈させない」取り組みが行われています。

今や子どもたちを「預かる」だけでなく、地域で子どもたちを「育む」場となった「放課後子ども教室」は、地域のスタッフと子どもたちが共に成長し輝ける場所となっているようです。

### 働く保護者を支える放課後

「今日も暑かったね。宿題やる前にお茶でも飲みや」。真っ赤な顔で汗をかきながら帰ってきた男の子に、優しく声を掛ける一人の女性。よくある家庭での会話のようですが、これはある「放課後子ども教室」での会話です。

四十町では平成19年度に、子どもたちが放課後や週末の時間を安全に過ごせる居場所をつくること「放課後子ども教室」が始まりました。地域住民がスタッフとなって子どもたちを見守り、小学校の余裕教室や集会所などを活用しながら、現在、全ての小学校下で11の教室が開設されています。

近年では当たり前となった共働き家庭の増加や、少子高齢化・核家族化が進む現代社会。地域コミュニティの希薄化を危惧する声もある中で、親以外の大人が子どもたちを見守る地域の子育て力も低下し、ますます「放課後子ども教室」の必要性は高まっています。

### 教室を支えるスタッフの実態

「放課後子ども教室」に欠かせないのが、スタッフの存在です。保護者が安心して子どもたちを預けられるよう、2・3名体制で子どもたちの安全を見守っています。

しかし今、スタッフの高齢化や夏休みなどの長期休業中の人員確保が、一部の教室では課題となっています。

スタッフの中には複数の教室を掛け持つ人がいたり、学生アルバイトの力を借りるなどして、教室運営を維持しています。

そのような状況の中、子どもたちの成長を育む「放課後子ども教室」の3つの魅力に迫ります。

# 遊

## びの場



外に出て子どもたちと一緒に遊ぶ(影野教室)



### 子どもらしさが輝く時間

宿題が終われば楽しい遊びの時間が待っています。自由に友だちと遊ぶ放課後の時間は、子どもたちにとってかけがえのないものであり、学校の休み時間とは全く別のものようです。屋外ではボール遊びや縄跳び・パドミントンを楽しみ、屋内ではブロック・絵本・工作・お絵かき・折り紙・トランプなど、自由に思い思いの遊びが始まります。

上級生は下級生を思いやり、下級生は上級生に憧れを抱きながら、自由な雰囲気の中で思いっきり遊ぶ時間。子どもたちの素顔のぞく、とおきおきの時間でもあります。

### みんながいるから安心!



東又教室のみんな

友だちもみんないるから安心できる。ここならじっくり友だちの相談に乗ることもできるし。先生に宿題を見てもらったり、木工教室やパーベキュー体験も楽しい!